

デリカフーズ株式会社 中間決算説明会

デリカフーズ株式会社(3392)
代表取締役社長 館本 勲武
平成18年11月

<http://www.delica.co.jp>



中間決算説明会

・「平成19年3月期 中間決算概要」

取締役経営企画部長 澤田 清春

・「今後の戦略・将来構想」

代表取締役社長 舘本 勲武

・質疑応答



目次


1. 会社概要と事業内容
2. 当社の強み・特徴
3. 平成19年3月期 中間決算の概要
4. 今期の予算達成の戦略と通期見通し
5. 将来構想



1. 会社概要と事業内容

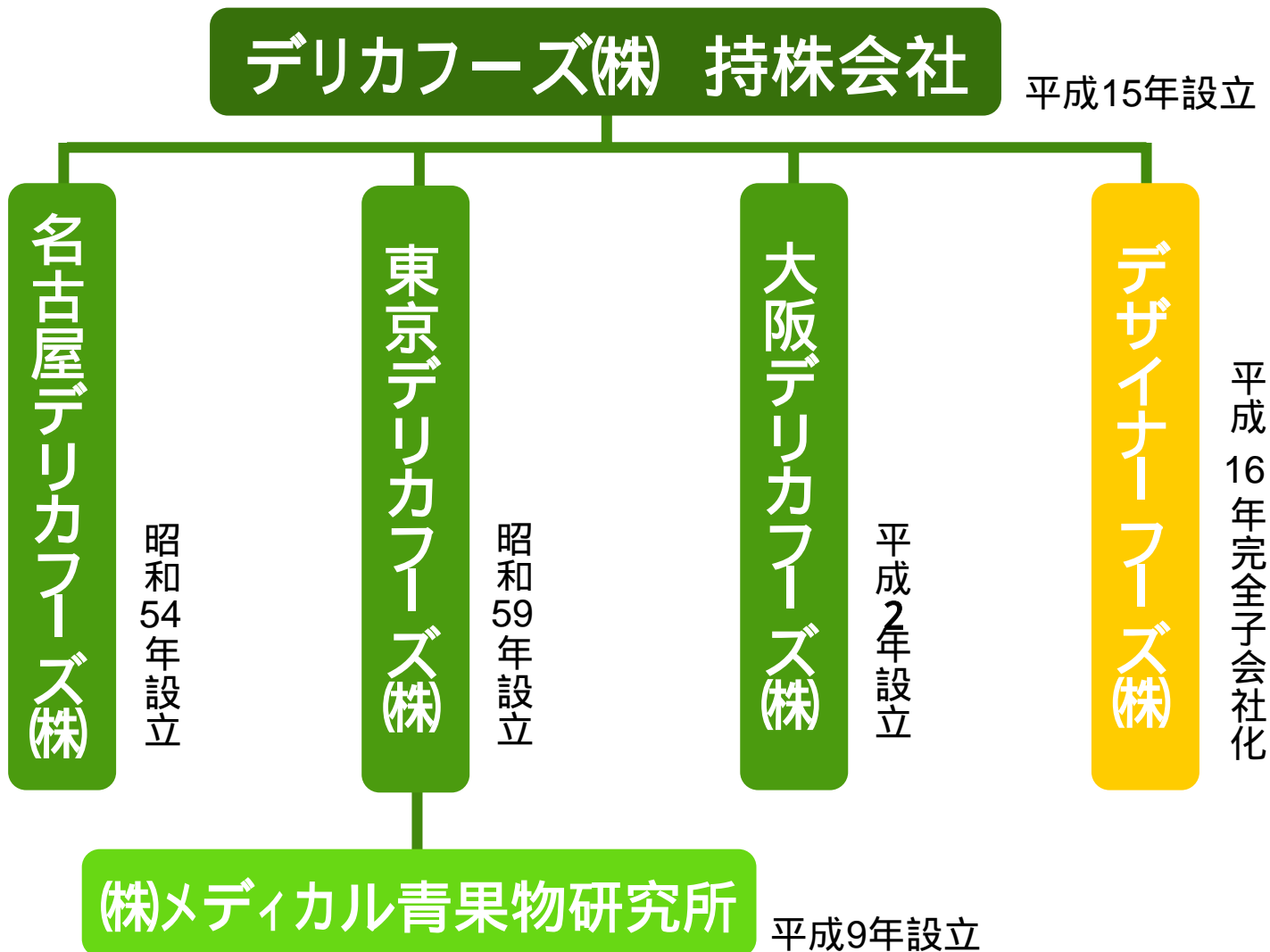


会社概要 (平成18年9月30日現在)

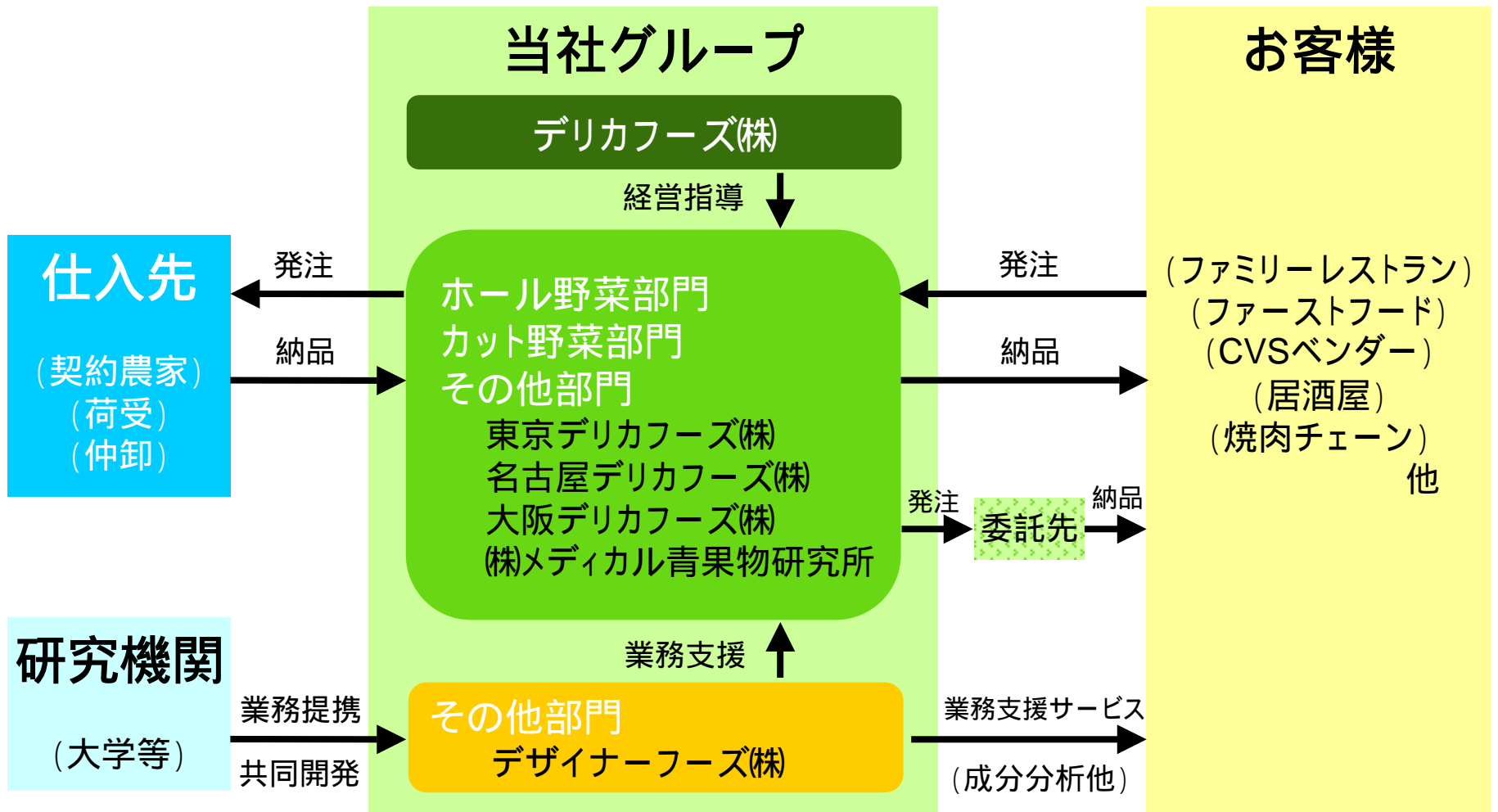
- 会社名 デリカフーズ株式会社
- 株式上場 平成17年12月6日 東証二部上場 
- 設立 平成15年4月1日(持株会社設立日)
(昭和54年10月6日創業)
- 所在地 東京都足立区保木間二丁目29番15号
- 資本金 759百万円
- 社員数 170名(平均臨時雇用者数:659名)
- 関係会社 東京デリカフーズ(株)
名古屋デリカフーズ(株)
大阪デリカフーズ(株)
デザイナーフーズ(株)
(株)メディカル青果物研究所
- 事業内容 ホール野菜の販売、カット野菜の製造販売等



当社グループの体制



事業系統図



2. 当社の強み・特徴



野菜のすべてを熟知し、顧客のニーズに応える

外食・中食の
ニーズの情報提供

デリカフーズグループ

- ・必要なものを必要なときに必要な分だけ
- ・安定的な価格
- ・野菜に関する情報を提供

【当社グループの強み・特徴】
価格管理機能
チルド物流機能と鮮度保持技術
産地と外食・中食をつなぐ情報流通機能



安定購入・大量購入

生産者 ・ 市場



**レストラン
ファーストフード
中食・居酒屋**

外食・中食から
必要な情報の要求

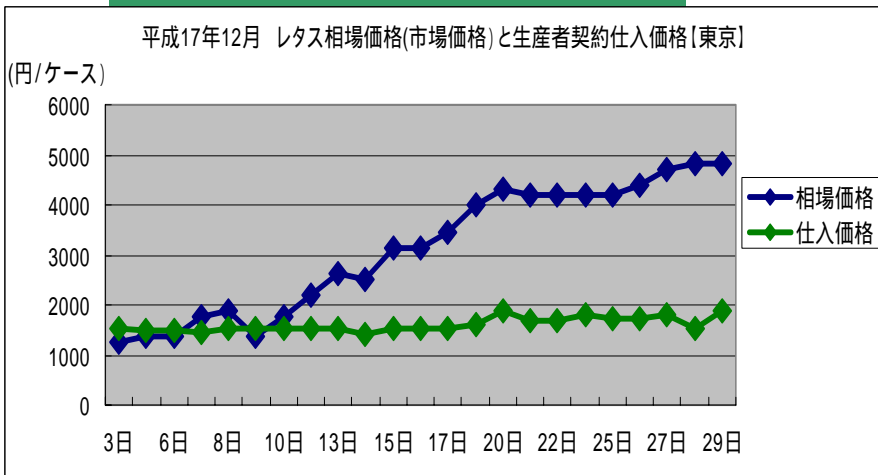


価格管理機能

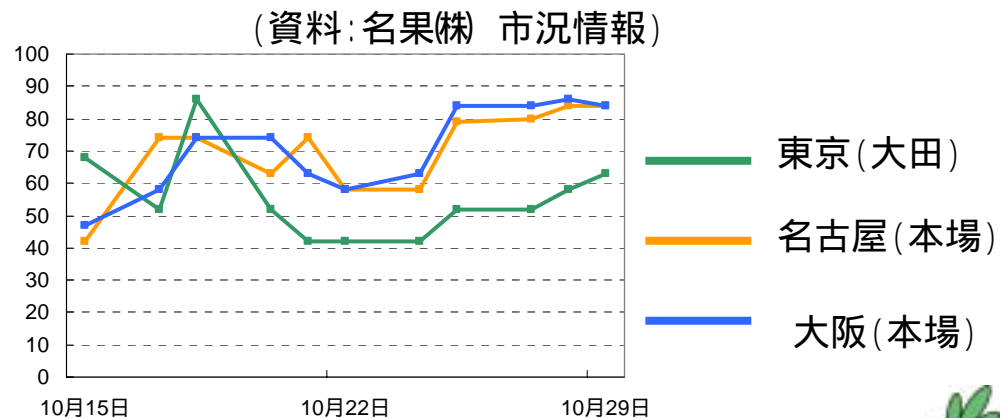
価格変動が激しい青果物において安定価格・安定供給で提供

外食・中食産業のお客様の必要量把握しているので、
契約産地と作付面積や価格を前もって決めることが可能。
全国に張り巡らした「産地ネットワーク」を持つ。
価格見積もり期間は、月間 あるいは 週間 等
分社化により、価格見積もりは各地域毎で行う。

平成17年12月大雪による影響の中
当社の仕入価格は安定した推移

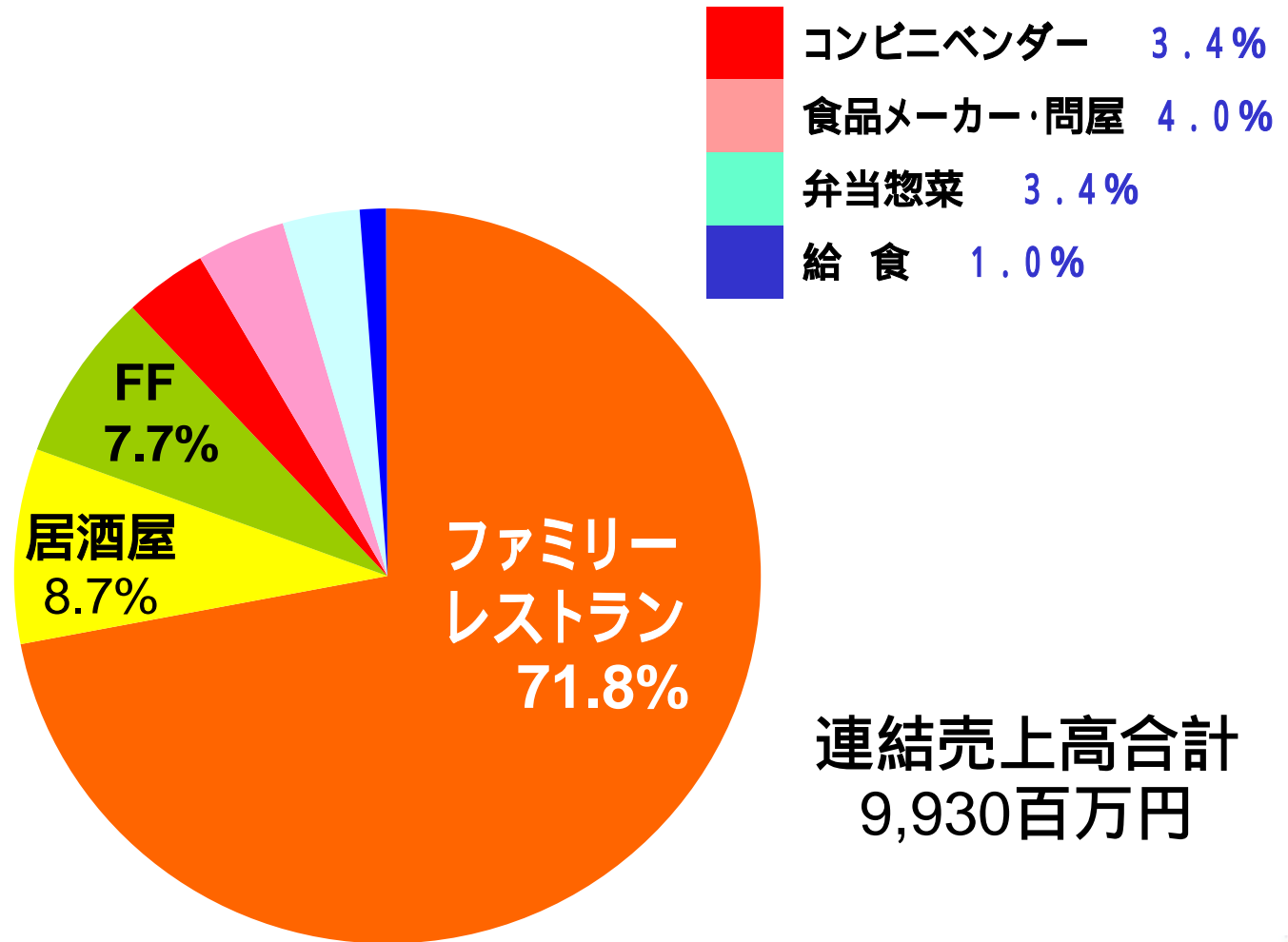


(参考例) キャベツの各地区相場比較
(平成17年10月15日～10月29日)



顧客別売上高(連結)構成比

平成19年3月期(中間)



部門別売上高(連結)構成比

平成19年3月期(中間)

卵・豆腐など野菜以外の
の商品・委託先

その他
16.2%

カット野菜
部門
29.7%

業務用カット野菜

ホール野菜部門
54.1%

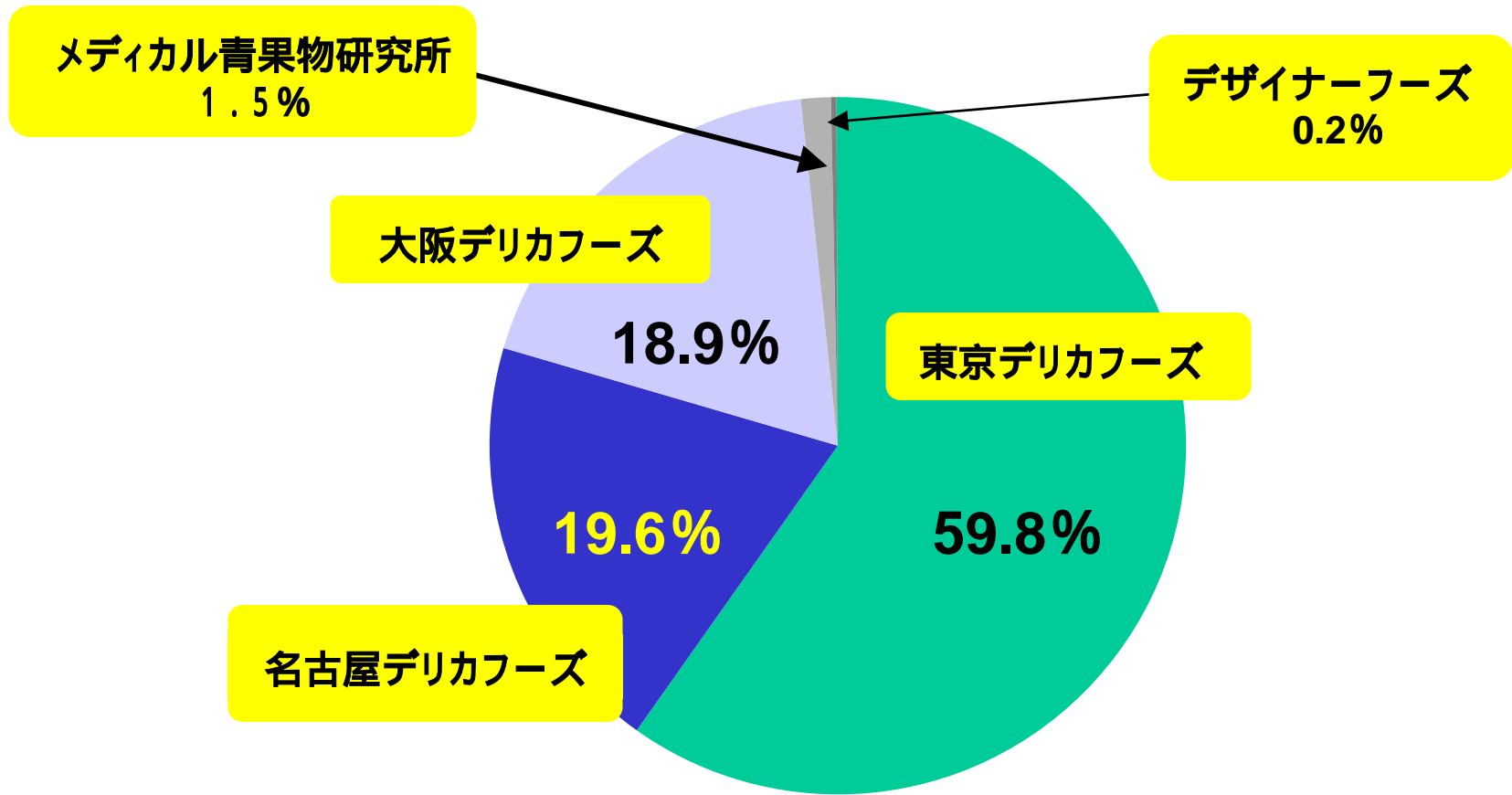
丸ごとの野菜

連結売上高合計
9,930百万円



連結子会社別売上高構成比

平成19年3月期(中間)



連結売上高合計
9,930百万円



3 . 平成19年3月期 中間決算の概要



中間の実績(連結)

	平成18年 3月期 通期実績	平成19年 3月期 中間実績	平成19年 3月期 期初計画	計画比
売上高(百万円)	19,462	9,930	9,800	+ 130 1.3%増
営業利益(百万円)	653	333	283	+ 50 18.0%増
経常利益(百万円)	593	325	270	+ 55 20.5%増
経常利益率(%)	3.05	3.28	2.76	
当期純利益(百万円)	363	200	156	+ 44 28.3%増

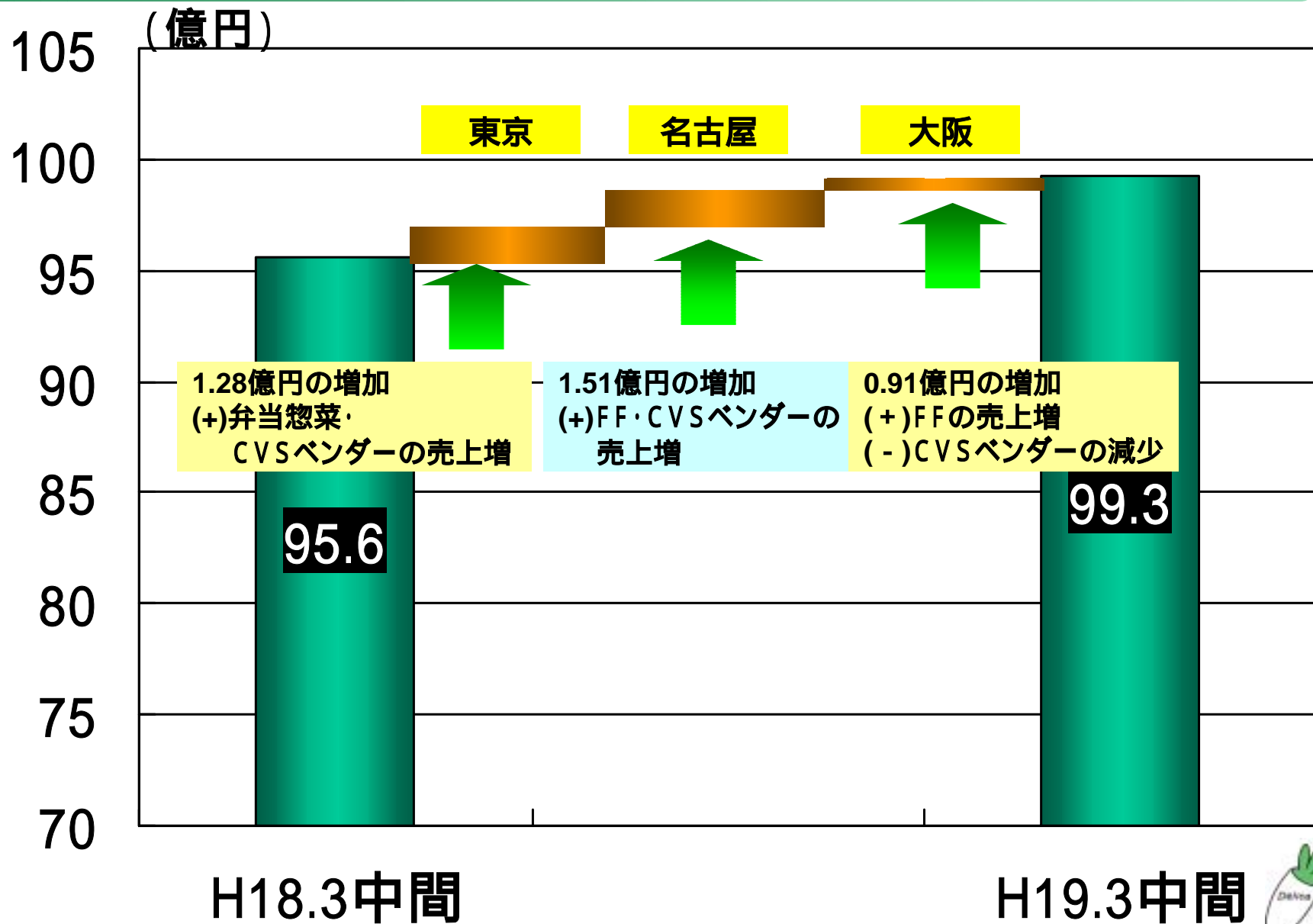


業績(連結)の推移

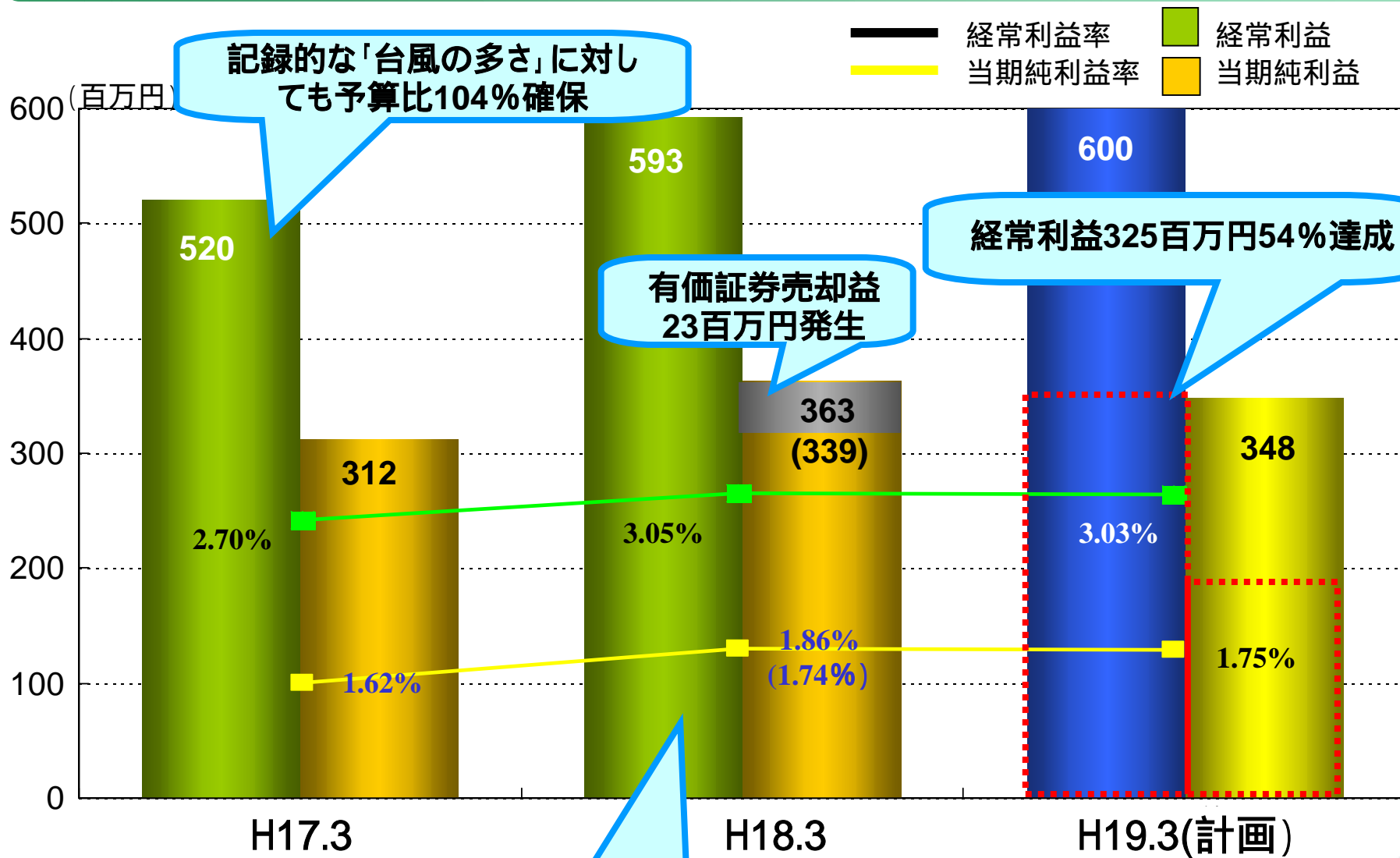
	平成18年3月期 中間	平成19年3月期 中間	前年同期比
総資産 (百万円)	6,265	7,589	21.1%増
資本金 (百万円)	303	759	150.1%増
資本剰余金 (百万円)	937	1,591	69.7%増
利益剰余金 (百万円)	594	954	60.6%増
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	260	251	
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	24	186	
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	344	275	
現金及び現金同等物期末残高 (百万円)	723	1,601	



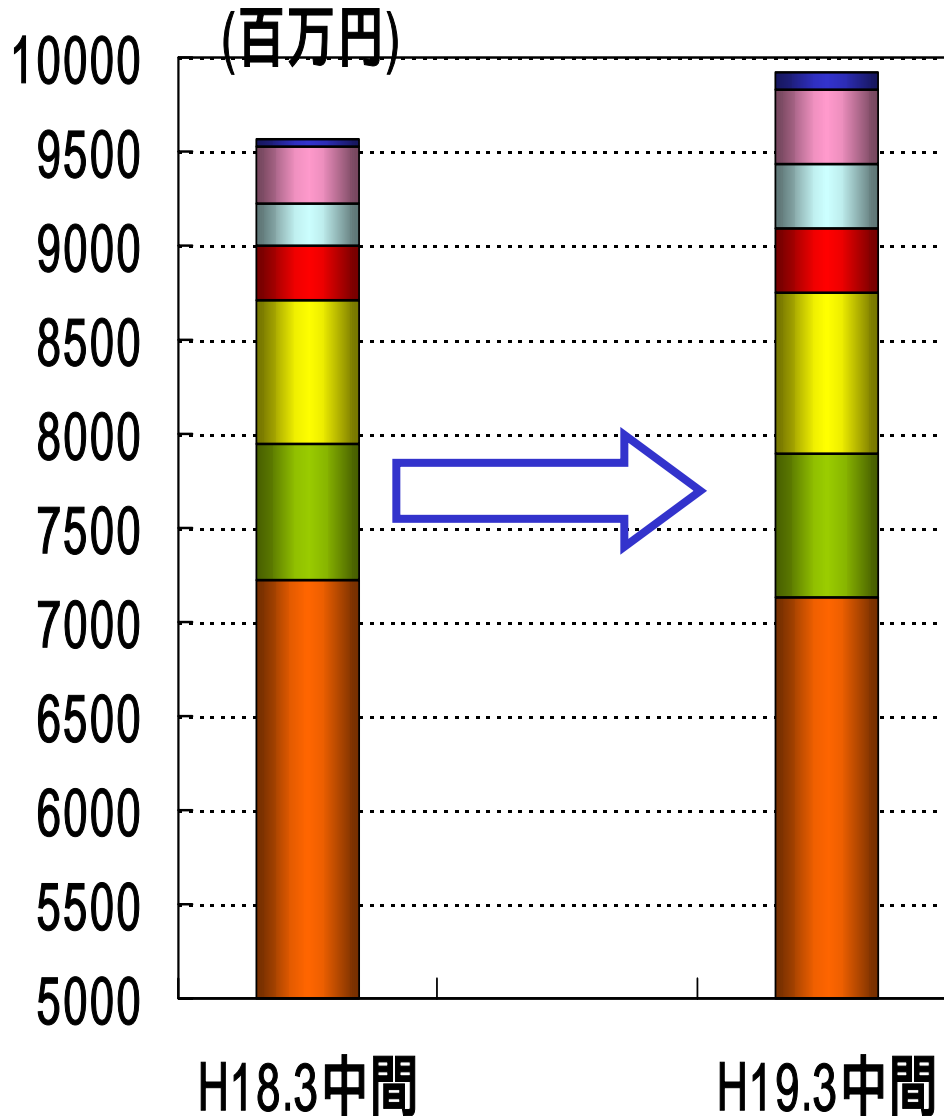
売上高(連結)



利益(連結)推移



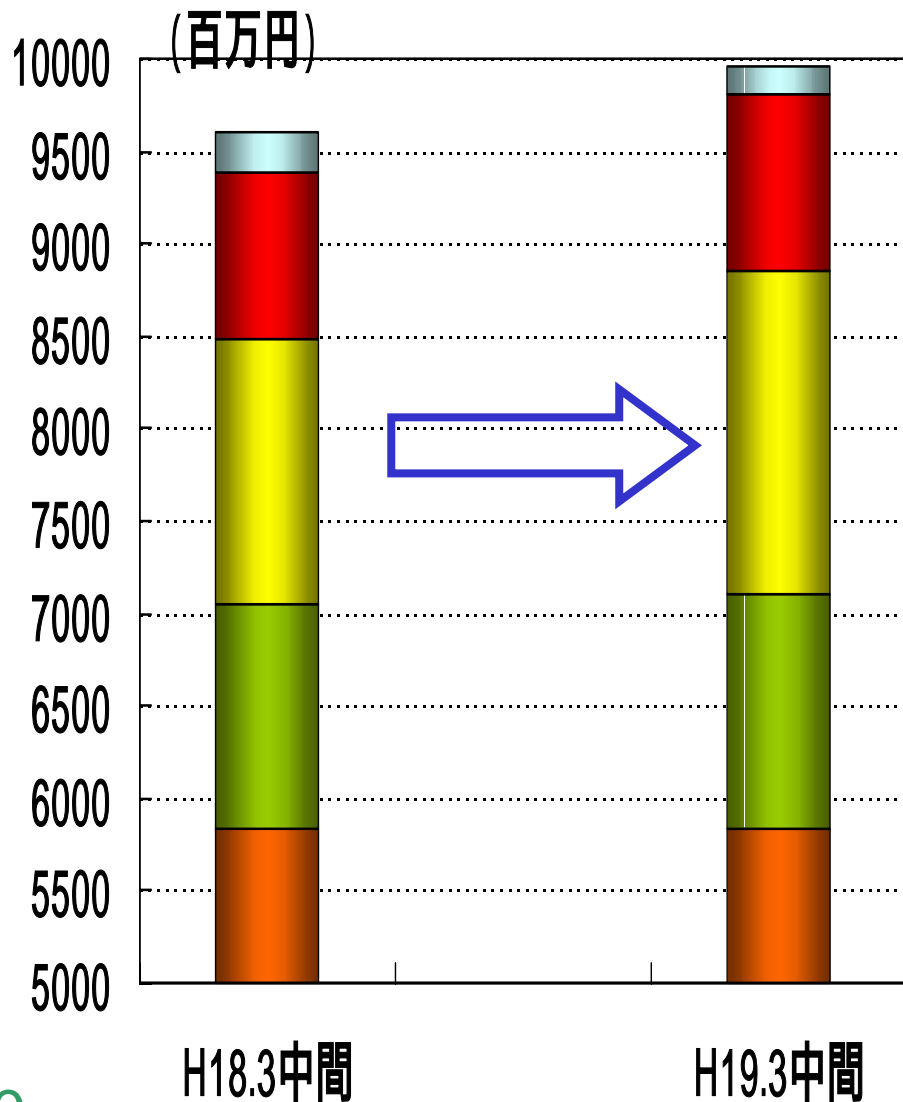
顧客業態別売上高推移



増加額 順位	顧客業態	増加額 (百万円)	前年 同期比
1位	弁当惣菜	113	50.4%増
2位	食品メーカー 問屋	99	33.4%増
3位	居酒屋	92	12.0%増
4位	給食	62	169.6% 増
5位	コンビニベンダー	50	17.4%増
6位	ファースト フード	34	4.7%増
7位	ファミリー レストラン	87	1.2%減



顧客月間売上額別推移



増加額 順位	顧客業態	増加額 (百万円)	前年 同期比
1位	100 ~ 500万円/月	+ 324	22%増
2位	1000万円以上	+ 84	1%増
3位	500 ~ 1000万円	+ 56	4%増
4位	100万円未満	+ 45	5%増
5位	新規	66	3%減



4. 今期の予算達成の戦略と 通期見通し



通期見通し(連結)

	平成18年 3月期 通期実績	平成19年 3月期 通期計画	差額	前期比
売上高(百万円)	19,462	19,800	338	1.7%増
営業利益(百万円)	653	630	23	3.5%減
経常利益(百万円)	593	600	7	1.1%増
経常利益率(%)	3.05	3.03		
当期純利益(百万円)	363 (339)	348	15 (9)	4.1%減 (2.4%増)

前期有価証券売却益を
除いて実質増加



今期予算達成のための下期施策

青果物業界でもNO.1の経常利益率をさらに上げることを目標。
目標 経常利益率 3.0%以上必達

- A 売価・仕入値のバランス(売上仕入日次管理)(月間予実管理)
- B 内部管理(青果物のロス抑制、在庫管理、歩留まり管理)
- C 情報管理(全国会議での情報交換) 営業会議・仕入会議・開発会議

既存顧客の深耕営業

下期 売上100億円

- A 顧客のニーズをつかみ、売上拡大を目指す。
- B 「健康野菜塾」などによる情報提供
- C 安心安全アピール
(トレーサビリティ、ポジティブリスト制、原産地表示、薬品を使わない工場の見学等)

兵庫工場 平成19年3月下旬稼働準備(土地取得)

* 投資5億円、償却予定15年償却 **準備経費発生(初期予算織込済)**

- A 旧工場(神戸工場)の既存の顧客に加え、関西以西の新規顧客を獲得予定。
- B CVSベンダー獲得予定
月間売上500万円増予定



5 . 将来構想



今後の戦略・将来構想

NO.1 新商品の開発（外食の深耕開拓）

- ・温野菜の開発
 - ・フルーツの更なる熟度管理出荷
- 開発期間1年、販売開始1年後、
売上規模1年後5億円、2年後10億円、3年後30億円

NO.2 資源ロス対策による利益の改善

- ・ゴミ処理プロジェクト ゴミ処理代削減4000万円/年
 - ・在庫発注受注等のコンピュータシステム開発
野菜ロス削減3000万円/年
- 開発期間2年 最終 + 合計7000万円のコストダウン

NO.3 スーパーへの販売開始

- 第1期 栄養表示のフルーツ販売
 - 第2期 野菜販売（機器開発充実）
- 開発期間2～3年（2～3年後販売開始）



NO.1 新商品の開発

温野菜の開発 「弊社しかできない商品の開発」

弊社が開発した機械 (温度帯 60 ~ 450)



アミノ酸の分析をすることによって
各野菜の「おいしさ」を見つける



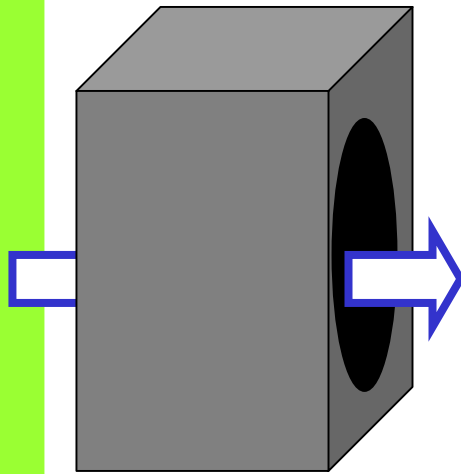
アミノ酸分析器



フルーツの熟度管理の開発



光センサー
選別機械
(弊社開発)



出荷

完熟



完熟

氷温庫(熟度維持)



未熟

熟成庫(追熟)



NO.2 資源ロス対策による利益の改善

ゴミ処理費用 年間8000万円 4000万円に減少

食品リサイクル法に則り、資源を有効活用することを前提に取り組む。

生ゴミ処理機



減量・減容によって、従来廃棄よりコストダウン(葉野菜は1/10に減少)



NO.2 資源ロス対策による利益の改善

在庫発注受注等のコンピュータシステム開発

入荷

カット野菜工場
ホール野菜の在庫

出荷

~~廃棄ロス 歩留まりロス~~

青果物のロス 3000万円/年の削減を計画します。

生産者・市場

出荷先・顧客



NO.3 スーパーへの販売開始

形評価(従来の野菜の評価)

中身評価(新しい野菜の評価)を創る

栄養表示のフルーツ販売 ⇨ 機器開発充実 ⇨ 野菜販売
開発期間2~3年 (2~3年後販売開始)



値段 ¥130

おいしさ
抗酸化力
免疫力
解毒作用



アメリカではすでに野菜に栄養を表示しているが……。



DOLE® Leaf Lettuce

Amount Per Serving	
Calories 20	Calories from Fat 0
% Daily Value	
Total Fat 0.5g	1%
Saturated Fat 0g	0%
Cholesterol 0mg	0%
Sodium 0mg	0%
Total Carbohydrate 3g	1%
Dietary Fiber 1g	4%
Sugars 2g	
Protein 1g	
Vitamin A 20%	Vitamin C 4%
Calcium 2%	
Folate 1%	



アメリカではすでに野菜に栄養を表示して販売しているが、年間で変動する数値を一定にして表示している。

しかし、デリカフーズは、1個1個の野菜の抗酸化力、免疫力、解毒力を表示します。

